

# LEXUS 20 RX200t

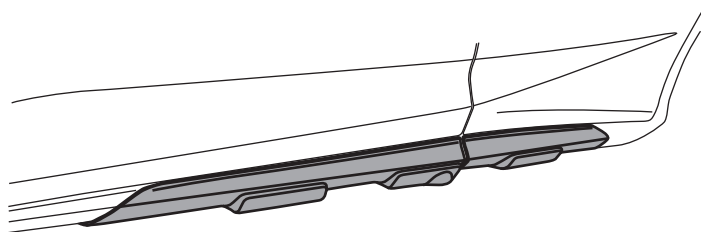
GYL20/25/AGL20/25('15,10~)



## 取付(取扱)要領書 (LED有り)

この度は、LX-MODE 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本製品を安全に使用していただくために、お買い求めの自動車用品専門店にてお取付けをお願いします。  
本取付(取扱)要領書をよくお読みの上、正しく取付けを行って下さい。  
取付け後は本書を必ずユーザー様へお渡しください。

### ■装着完成図 カラーサイドマッドガード



#### 構成部品

No.	形状	品名	個数
①		本体 (FR/FL/RR/RL)	各 1
②		皿ビス (M4x18)	8
③		電源配線	2
④		分岐コネクタ(白)	4
⑤		PAC プライマー(青)	2

#### 構成部品 (未塗装品のみ)

⑥		両面テープ (T=2.0mm)	16
⑦		LED 本体 (L/R)	2
⑧		LED 固定用ナット(青)	2
⑨		PAC プライマー(青)	2

### ■カラーサイドマッドガード (車両助手席側で説明しております。反対側も同じ要領で作業してください。)

#### ⚠ 注意事項

- ◆本製品は FRP 樹脂成形品です。
- ◆開封後は取り付け作業を始める前に梱包内容(構成部品表参照)の不足や破損が無いことをご確認ください。
- ◆本製品は生産工程に手切り作業が含まれているため、車両及び製品の個体差により一部加工が必要な場合がありますので必ずフィッティングを確認してください。(車両にキズ等を付けないようにテープ等で保護してください)
- ◆無理な変形をさせると破損する恐れがありますので絶対に行わないでください。  
また、これによって起きた破損はクレームの対象外となりますのでご了承ください。
- ◆本製品の加工・組付け不良・誤使用による不具合や事故などについては、弊社は一切責任を負いません。
- ◆両面テープの粘着を安定させるため、本製品を取り付け後 24 時間程度は強い衝撃を与えたり、洗車などの水に濡らす作業をおこなわないでください。
- ◆取付け後の返品はご遠慮願います。

#### ⚠ 未塗装品の注意事項

- ◆必ず「塗装する前」に取付けマッチングの確認をおこなってください。
- ◆製品の成形上、やむおえずバリ・巣などができますので、塗装前の下地処理にて除去をお願いします。
- ◆耐候性を向上させるため、必ず表面にクリア塗装をおこなってください。
- ◆塗装には必ず軟質樹脂用のウレタン系塗料をご使用ください。
- ◆塗装の乾燥は、必ず常温にておこなってください。(熱を加えますと変形する恐れがあります。)
- ◆塗装後の返品はご遠慮願います。

## ■取付け上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

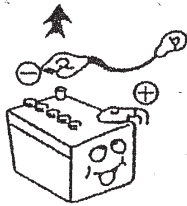
**⚠ 注意** ……必ず取り付けに反映させて作業を行なってください。もし注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両故障につながる恐れがあります。

**👉 アドバイス** ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

1. 通常のキーによるエンジン始動・停止、電気式ドアロックが正常に作動する事を確認してください。
2. 車両部品の取り外しに際しては、タッピングスクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないよう配慮してください。また、車両及び取り外した部品に傷を付けないよう取り扱いには充分注意してください。
3. バッテリー復元作業終了時に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

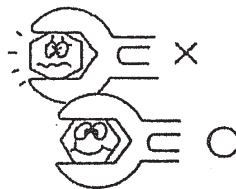
### 取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす

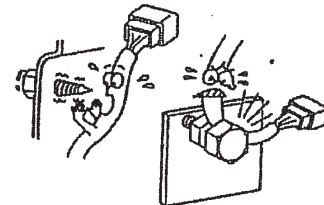


### 部品の取り付けは

- 寸法に合った工具を使う



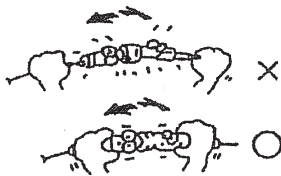
- 裏側に注意する



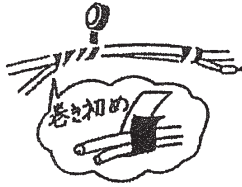
ハーネス噛み込みに注意する

### 配線は

- コネクタは本体を持ってはずす

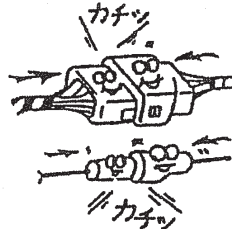


- プラブラさせない

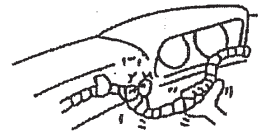


車両のワイヤーハーネスとまとめたり、クランプを利用して固定する

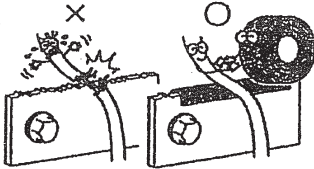
- コネクタは確実に接続



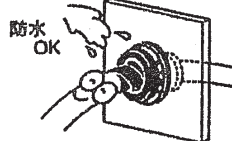
- 無理に引っ張らない



- バリ、エッジ部はガムテープ等で保護する

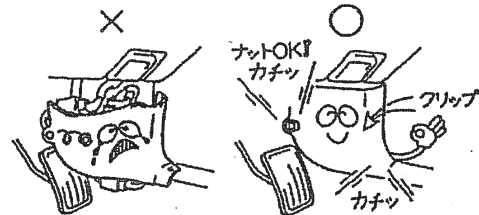


- 防水処理を行う



グロメットから配線する場合は防水処理を完全にする

- 車両部品が確実に復元できるようにワイヤーハーネスを処理する



### ⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行なう場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう充分注意してください。

### 取り付けに必要な工具等

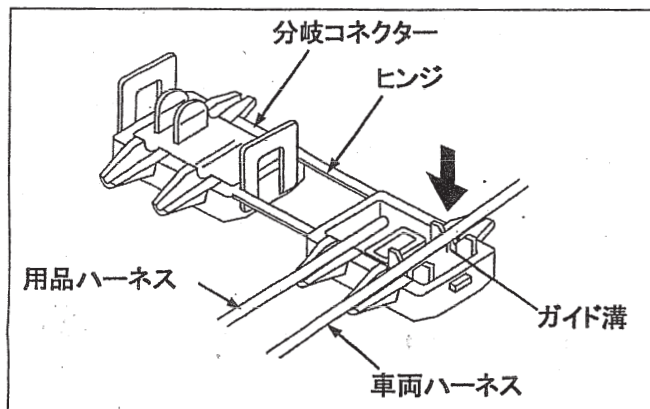
ドライバー (プラス、マイナス)、ソケットレンチ(8mm,10mm)、クリップリムーバー、ガムテープ、ニッパ、プライヤー、プチルゴム、精密ドライバー、保護シート、針金、ビニールテープ、ウェス、ケガキ針、ヤスリトルクレンチ、はさみ

## ■分岐コネクタの接続方法

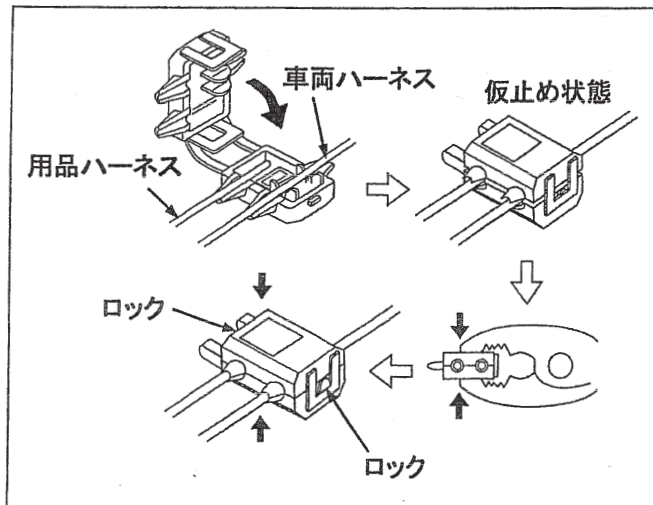
### 分岐コネクタ使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないよう充分注意してください。
- (2) 分岐コネクタは、他の用品が装着されている場合でも必ず、車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクタ接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合した事を確認してください。
- (4) 接続するコネクタの端子番号及び、用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう充分注意してください。
- (5) 同一コネクタに複数の分岐コネクタを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクタは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクタを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

### 分岐コネクタの接続手順



- (1) 接続する車両ハーネスがビニールチューブ及びビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
- (2) 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

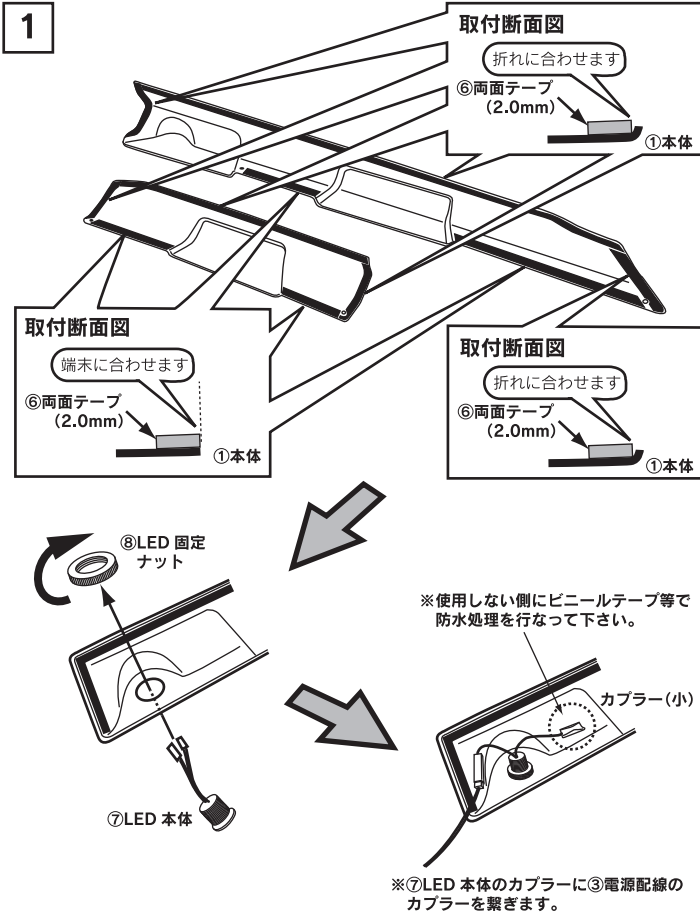


- (3) 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクタを折り返し仮止め状態を作り、プライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。（クリック音を確認）
- (4) 分岐コネクタの異音防止のため、ビニールテープを巻いて処理してください。

### 始業点検

ドアロック、パワーウインド、ハザード等、電気系統の作動確認を実施してください。

■製品へ両面テープの取付け(未塗装品のみおこなってください)



- 1 (1) ①の本体を塗装後、裏面の⑥の両面テープ貼付け面を 600 番程度の紙ヤスリで軽く荒らし、脱脂処理後に⑨の PAC プライマー (青) を塗布し下地処理をおこないます。

👉 アドバイス

この時、PAC プライマーが両面テープ貼付け面以外の場所 (特に塗装面) へ付着しないようご注意ください。塗装の変色などの原因となることがあります。

- (2) 左図を参考に⑥の両面テープを本体へ組付けます。

- (3) ①本体に表側から⑦LED 本体を差し込み、裏側から⑧LED 固定ナットで挟むように固定します。

👉 アドバイス

LED 固定ナットはしっかりと締め込んでください。

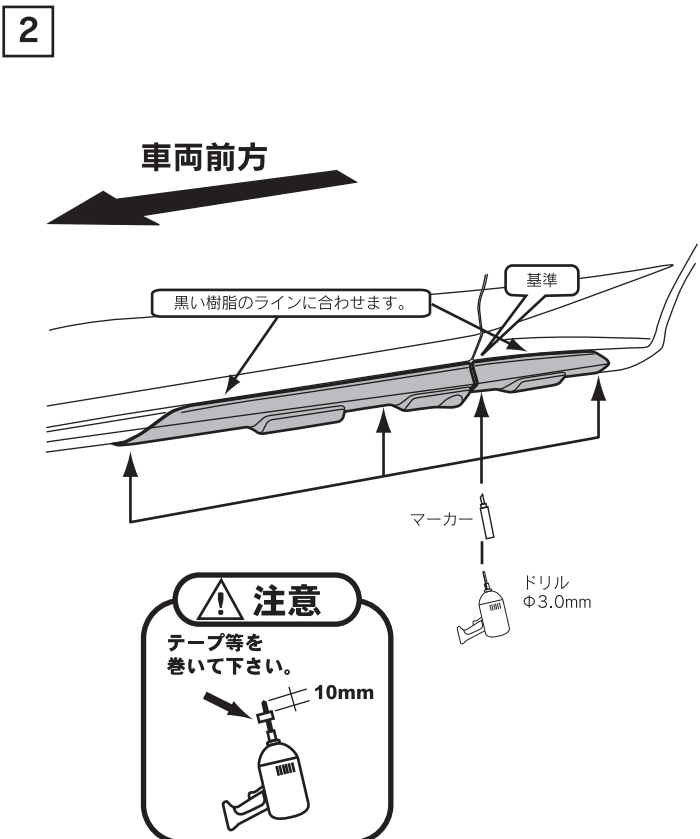
- (4) ⑦LED 本体のカプラーへ③電源配線を繋ぎます。

- (5) ⑦LED 本体の余っている側のカプラーを、ビニールテープ等で防水処理してください。

👉 アドバイス

この時、③電源配線の端部の被膜を少しめくり、赤色 (+) と黒色 (-) をバッテリーなどに繋ぎ、点灯試験を必ず行ってください。

■車両への装着準備



- 2 (1) ①本体を車両に図の位置を参考に、ドア見切りを基準に前後のバランスを確認しながら仮付けし、取付け位置を確認します。

👉 アドバイス

この時、マスキングテープ等で外周を囲む様にマーキングすると取付け作業が行い易くなります。同時に、取り付け用両面テープが車両に面当たりしていることも確認しておいてください。

- (2) ①本体フェンダー部及び下部の穴位置に合わせて、車両にマーカー等でマーキングします。

👉 アドバイス

マーキングする際は、①本体を車両側に押さえて隙間が開かない様に注意して下さい。

- (3) (2) でマーキングした穴位置に合わせてφ3.0mm のドリルでネジ止め位置に下穴を開けます。

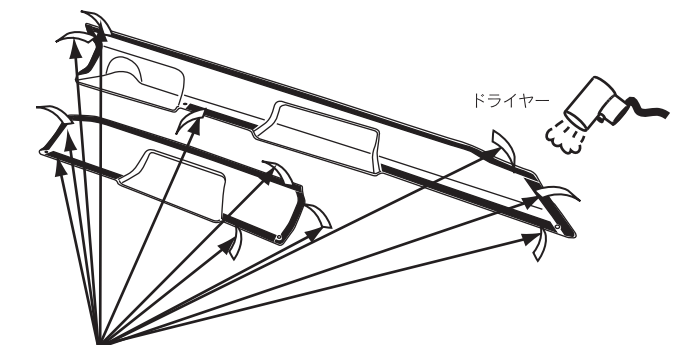
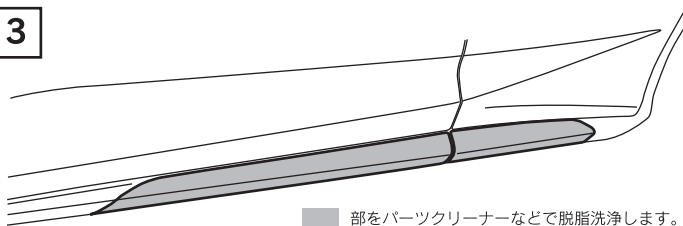
⚠ 注意

車両に穴を開ける際は、ドリルの先から約 10mm にテープを巻くなどして、10mm 以上刃先が刺さらないように注意してください。

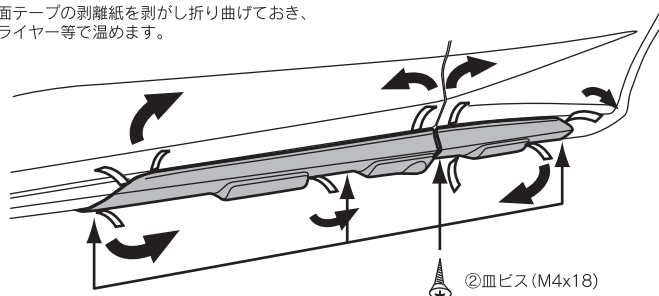


## ■本体の取付け

3



両面テープの剥離紙を剥がし折り曲げておき、ドライヤー等で温めます。



### 取付断面図



3

- (1) ②-(1) でマーキングした内側を脱脂洗浄します。両面テープの当たる部分を⑤の PAC プライマー (青) を塗布し下地処理をおこないます。

### 👉 アドバイス

この時、PAC プライマーが両面テープ貼付け面以外の場所 (特に塗装面) へ付着しないようご注意ください。塗装の変色などの原因となることがあります。

- (2) ①本体裏面の両面テープの剥離紙を、両端から 5cm 程度剥がし外側に折曲げておき、ドライヤー等でテープを温めます。

### 👉 アドバイス

ドライヤー等で両面テープを温めると、接着強度が増します。この時、火傷には十分に注意してください。

- (3) マーキングした位置に①本体を貼付け、全体のバランスを確認し、両面テープの剥離紙を引抜き、圧着した後に②皿ビスを仮締めます。

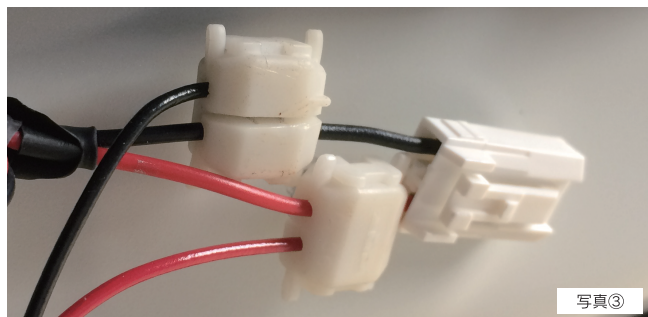
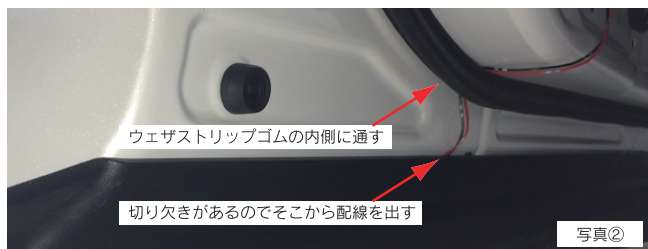
### 👉 アドバイス

車両のドアパネルの下側の黒い樹脂部分のラインに添わせ、前後のドア見切りの隙間を合わせて貼ってください。また、必ず仮付けの状態での干渉が無い事を確認して下さい。

- (4) 全体のバランスを確認し、両面テープの剥離紙を引抜き、圧着した後に②皿ビスを本締めます。

## ■LEDの配線接続

4



4

- (1) バッテリーのマイナス端子を外します。  
(2) フロントドアカーテシランプから電源を取るため、車両よりフロントドアの内張りを取り外します。(サービスマニュアル参照)

### 👉 アドバイス

取る外し・取付けはドアや内張りにキズを付けない様に十分に注意して作業を行なって下さい。

- (3) ③電源配線を、写真①ドア最下端の樹脂カバーの内側に隠しながら車両前方に向かって通し、写真②カーテシ付近の切り欠きから出してウェザーストリップゴムの内側に通して、内張りの中に入ります。

- (4) カーテシランプ配線の (+) へ③電源配線の赤色 (+) 線を、カーテシランプ配線の (-) へ③電源配線の黒色 (-) 線を④分岐コネクタを使用して接続します。(別紙 分岐コネクタの接続方法参照) 配線は適切な長さにカットし調整してください。

- (5) カーテシ仮付け後、車両側のカーテシランプスイッチを押し、ドアが開いた状態で LED が点灯するか確認したのち、ドアの内張りを元に戻します。